

献血者と血液を必要としている方との間の“架け橋”になりたいという思いを込めて活動しています。

No.24
2022.3 発行

栃木県学生献血推進連盟



かけはし

☆きつかけは、「かけはし」から☆

私たちは栃木県学生献血推進連盟「かけはし」です。献血の推進を目的に活動しているボランティア団体で、栃木県内の大学で結成しています、帝京大学(レッド・クロス)、宇都宮大学(レッド・レンジャー)、栃木県立衛生福祉大学校(へもぐろびんズ)、白鷗大学(レッド・ホープ)の献血サークルを中心に活動しています。

また、県立高等学校のJRC部も参加し、とても楽しく活動しています。

かけはしの会員の募集は随時行っています。各大学の学内献血時や栃木県赤十字血液センターにて募集していますので、少しでも興味のある方、御連絡お待ちしております。

ツイッター @tochigi_gakusui

血液センター 献血推進課 TEL028-659-0114

会長のことば

「かけはし」会長
大川 藍 帝京大学 3年

私たち栃木県学生献血推進連盟「かけはし」は、現在、県内の大学・専門学校の計4校の学生で献血活動の普及に取り組んでいる団体です。主に学生間での話し合いを通じて、イベントの企画・運営を行っており、年に数回は全国の学生献血推進連盟に所属する学生と会議を行い、活動の活性化に努めています。

現在、若年層の献血者数の減少が問題視されていますが、本県では多くの若者の方にご協力をいただきしており、若年層の献血者数は全国トップクラスです。「献血バスが学校に来たから」「友達に誘われたから」など、小さなきっかけから始まったその行動が、誰かの命を救う一歩になっています。1回たった40分の献血で何人の方が笑顔になれるでしょうか。患者さんだけでなく、そのご家族の方やご友人までもが、笑顔になれるのです。私たちは誰かの命を救い、笑顔にする力があります。今後も、献血へのご協力をよろしくお願いいたします。

「かけはし」は学生であることが条件で、学校や学年の制限なく参加できます。所属学生だけでなく、血液センターの職員の方や献血の方などと幅広い交流を取りながら、献血者と血液を必要としている方々との「かけはし」になりませんか？メンバー一同、みなさんの参加を心よりお待ちしています！

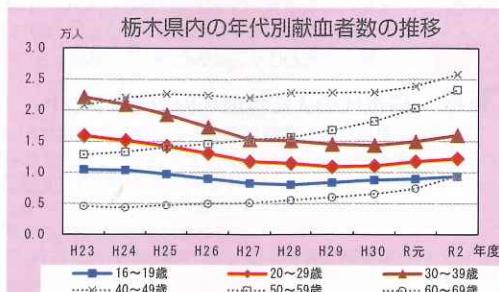


献血にご協力ください

いま、献血のいちばん大きな問題は何だと思いますか？その答えは、献血に協力してくれる若い人たちが少ないとことです。

近年の献血者の推移を見てみると、10代から30代の献血者は若干増加傾向であるものの40代、50代と比較し、少ないことが分かります。このままでは、血液を必要としている患者さんに血液が届かなくなってしまうおそれがあります。

若い世代の皆さんへの献血への理解とご協力をお願いします。





● 「かけはし」とは？

平成8年10月に国際医療福祉大学にABO（アボ）の名称の献血推進サークルが出来、平成10年6月7日に栃木県内の大学が一致団結、栃木県学生献血推進連盟「かけはし」が発足しました。

血液を提供してくださる方と、血液を必要とされる方との間に立ち、架け橋になりたいという思いを込めた名前です。

● 活動目的

献血への理解を深め、積極的に献血の推進をするとともに、各大学との情報交換及び親睦を深めることを目的として活動しています。

● 構成団体

宇都宮大学（レッド・レンジャー）、帝京大学（レッド・クロス）、栃木県衛生福祉大学校（へもぐろびんず）、白鷗大学（レッド・ホープ）の献血推進サークルを中心に活動しています。

● 活動内容

- ・定例会（月1回）
- ・日々の街頭献血会場での広報活動や献血者・同伴者への接遇（おもてなし）
- ・献血イベントの主催・企画運営
- サマー献血キャンペーン（7月）
- ハロウィン献血キャンペーン（10月）
- 全国学生クリスマス献血キャンペーン（12月）
- バレンタイン献血キャンペーン（2月）

など

その他

- ・新入部員オリエンテーション（5月）
- ・全国、関東甲信越ブロック学生献血推進連盟の会議に年5回参加
- ・関東甲信越ブロック学生献血推進のリーダー研修会参加
- ・他県の学生献血推進連盟主催イベントへの参加
- ・学校献血時の広報活動
- ・夏期研修会の企画・参加（8月）
- ・献血セミナーの実施（各大学・高等学校など）
- ・県政番組等（とちぎテレビ・CRTとちぎ放送・エフエム栃木（Radio Berry））への出演

など、1年を通じて楽しく活動しています！！

サークル名: レッド・レンジャー



“かけはし”に参加したきっかけ

私にとってこの活動の原点は「塾の先生」です。塾の先生がボランティアをされており、よく話を聞いていました。それがきっかけで私もボランティアに興味を持ち始め、自分にとって比較的身近だった献血ならと思いレッドレンジャーへの加入を決め、「かけはし」へも参加することになりました。「かけはし」は栃木県の様々な大学等からメンバーが参加しており、活動を通じて交友関係も広がり、一緒に取り組む中で刺激を受けることや学びを得ることも多いため、今まで「かけはし」の活動に携わさせていただいている。

学年

宇都宮大学院1年

氏名

小堂 賢斗

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

献血してくださった方からの「学生さんが呼び込みをしていたから献血していると思った」という言葉です。活動をしていく中で「自分たちの活動に意味がないんじゃないのか」と考え、モチベーションが下がってしまうこともありました。そんな中、自分たちの活動もちゃんと意味があるんだと実感することができ、もっと頑張ろうと気を取りなおすことができました。心がけていることは献血しやすくなるような呼び込みです。献血に興味はあるけれど、できるのかわからない方が気にしやすい、献血基準を呼び込みに盛り込み、少しでも疑問がなくなるようにしています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

呼び込みの際に「献血は命を救う身近なボランティア」であるとお伝えしていますが、ハードルが高く感じる方もいるかもしれません。そう言った方にお伝えしたいのは「始めるきっかけはなんでもいい」ということです。私自身、献血のレポート漫画を読んでお菓子が食べられる限り、それを目当てに行ってみたのが最初の献血でした(笑)。そのため、いいことをしようとかそんな風に考えず、暇つぶしくらいの気軽な感覚で献血に協力してもらえばと思います。

サークル名: レッド・クロス



“かけはし”に参加したきっかけ

大学の友人にサークルの説明会に誘われ、話を聞きに行つたことがきっかけです。母が定期的に献血を行っていたことや自分が通っていた高校に献血バスが来ていたこともあり、献血の存在 자체は知っていましたが、ボランティア活動が行われていることについてはほとんど知りませんでした。現在の献血状況や活動内容を知り、自分も活動に貢献したいと思い参加しました。

学年

帝京大学3年

氏名

矢板 優実

“かけはし”的活動で印象に残っていることや心がけていること

商業施設で献血情報を載せたティッシュの配布をしたことが最も印象に残っています。配り初めはほとんど受け取ってもらえず苦労しましたが、先輩方からコツを教えていただき、渡し方を工夫すると徐々に受け取ってもらえるようになりました。非常にうれしく思いました。

また、活動時は外部の方とお話する機会が多いので、大学生らしい言葉遣いや相手に伝わりやすいような話し方を常に意識して話すことを心がけています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

血液は毎日必要とされていますが、現代の技術では血液を人工的に作ることができません。そのため皆さんの献血へのご協力が必要です!初めての方はハードルが高いと思うので、「お菓子がもらえるから」という軽い気持ちでチャレンジするのもいいと思います。皆さんのお力で多くの命を救うことができます。ぜひ協力よろしくお願いいたします!

サークル名: レッド・ホープ



“かけはし”に参加したきっかけ

「かけはし」に参加していた先輩が、学内献血への参加を呼びかけていた姿を見たことがきっかけです。私も出来ることがあればやってみたいという思いから参加を決め、友人と一緒に参加しました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

季節ごとのキャンペーンの企画を「かけはし」のメンバーと一緒に考えるのがいつも楽しみです。呼びかけの際は親しみやすいよう笑顔で声をかけることを心がけています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血は少し勇気が必要なことかもしれません。しかし皆さんの勇気で救われる命があります。献血へのご協力よろしくお願いします。

サークル名: レッド・ホープ



“かけはし”に参加したきっかけ

大学の学内献血で勧誘を受けたのがきっかけです。私はそれまで献血をしたことがなかったので、大学に献血バスが来た際に献血に挑戦しました。その時は献血ができる落ち込んでいたところ、先輩からの勧誘を受け、献血をすることができなくともできることがあると知り、この活動に参加させていただくようになりました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

献血へのご協力の声掛けをしていた時に、献血しようかと迷っていた方がいて、献血がどのような流れで進んでいくのか説明したところ、献血をしようと決断してくださったことが印象に残っています。また、声掛けの時は、献血は怖いものだと思われないよう明るい表情でいることを心掛けています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

「かけはし」に入る前から献血の存在は知っていましたが、針が怖くて献血をすることができませんでした。しかし、実際に献血に行ってみて、今まで想像していた献血と異なり、献血は怖いものではないということがわかりました。献血が怖いと思っている方は、献血を待っている方のために「勇気」を出して、是非献血へのご協力よろしくお願い致します。

活動の様子



サマー献血キャンペーン



キッズ献血の様子



ハロウィン献血キャンペーン



メディア告知



定例会



サークル名:レッド・レンジャー

“かけはし”に参加したきっかけ

私が“かけはし”に参加したのは、人の役に立ちたいという思いを持っているからです。私は地元で暮らしているので、小さいころから献血のボランティアが商業施設にいる様子を見かけていました。高校生で初めて献血をして、献血のボランティアに興味を持ちました。献血ルームで献血した際に、献血の大切さや現状について学びました。献血のボランティアをするサークルが進学先の大学にあったので、栃木県の大学生が活躍する“かけはし”に加入了しました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

「かけはし」の活動で印象に残っていることは、多くの人の協力で献血が支えられていると実感したことです。7月のサマーキャンペーンや、10月のハロウィンキャンペーンで、献血へのご協力を呼びかけました。キャンペーン開始時から終了時まで、多くの人が協力してくださいました。

キャンペーンでの交流を通して、献血に協力してくださった方、血液センターの職員の方、看護師さん、他の大学の献血推進サークルの方など、多くの人が献血に関わっていると印象に残りました。

同世代の人に献血を勧めるコメント

栃木県の高校生の献血率は全国で最も高いです。献血が怖い、不安だと思っている人でも、大丈夫です。初めての場合だと、職員の方がサポートしてくださいます。献血ルームは宇都宮駅から徒歩10分の距離にあります。貰い物のついでにいかがでしょうか。



サークル名:レッド・クロス

“かけはし”に参加したきっかけ

高校時代に行った学内献血で献血に興味を持つようになり、大学で献血に関われるようなボランティアをしてみたいと考えていました。「かけはし」では、大学内だけではなく様々な大学と交流ができ、活動の幅を広げられると思い参加しました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

「かけはし」の活動は、呼びかけや記念品の受け渡しを中心に行っています。学生主体でのボランティアなため、自覚を持ち、献血に興味を持っていただけるような声掛けを積極的にするように心がけています。

そして、声掛けによって新たに興味を持ち、献血を受けてくださる方や、記念品受け渡しのときに「ありがとう」、「次も献血受けけるね」と述べてくださる方がいらっしゃいました。その言葉を受けて、「より力を入れよう」、「ボランティアして良かったな」と感じ、特に印象に残っています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血は多くの方が参加でき、多くの人を助けられるボランティアだと思います。それほどでも素敵なことだと感じませんか？献血は近寄りがたいと思う方や、雰囲気がわからず戸惑う方もいるかと思います。しかし、実際に受けてみると意外と怖いものではないと感じると思います。献血カードがなくても参加できますので、是非一度ご家族やお友達とお越しになって献血へのご協力をしていただけたら幸いです。



サークル名:ヘモグロビンズ

“かけはし”に参加したきっかけ

学校で唯一のサークルであり、先生や先輩からの勧めがあったからです。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

印象に残っていることは、自分の呼びかけで、献血について少しでも興味を持っていただき、「献血をしてみようかな」と言ってくれた方がいたことです。心がけていることは、声掛けの際、どのように献血について説明を受けたら、献血をしてみようと思えるかを考え、言葉にしています。

学年

栃木県立衛生福祉
大学校2年

氏名

辻 健花

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血をするということは少し勇気のいることかもしれません、自分が献血することでたしかに救われる命があります。是非！献血へのご協力お願い致します！



サークル名:レッド・レンジャー

“かけはし”に参加したきっかけ

元々献血が好きで機会があれば協力していました。また、同世代で献血する人が少ないと知っていたので、同世代の人たちにも是非献血をしてもらいたいと思いました。そんな折に献血推進の活動をしているサークルがあると知り興味が湧いたので参加させていただきました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

献血は何となく好きといった漠然としたものだったのですが、呼びかけをするにあたり実際にその血液がどう利用されるのか等お話を聞いたのが印象に残っています。

当たり前のことをですが、献血した血液は人のために使われるのだということを改めて感じ、これからも献血を続けよう、また献血してくれる人が増えるように頑張ろうと思いました。

同世代の人に献血を勧めるコメント

「献血は身近なボランティアで少しの善意で人を救うことが出来ます。」と言われると大変そう感じるかもしれません。記念品が貰えたり、好きな飲み物が飲めたり、血液検査の結果が分かったり、きっかけは何でも良いと思います。

何となく「良いこと」をして結果的に誰かを救う、という気楽な思いで非一度やってみてください。献血良いな、もう一回しようかなと思ってもらえた嬉しいです。



献血はどんなふうにするのかな？



受付



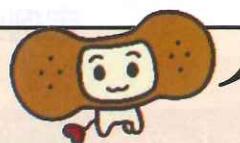
問診・血圧測定



事前検査



所要時間は全血献血で
約30～40分。
成分献血は60～90分
程度かかるよ。



献血カードをゲット！



採血



献血ができる人はどんな人？

項目	成分献血		全血献血	
	血漿成分献血	血小板成分献血	200ml献血	400ml献血
年齢	18歳～69歳※	男性18歳～69歳※ 女性18歳～54歳	16歳～69歳※	男性17歳～69歳※ 女性18歳～69歳※
体重	男性45kg以上、女性40kg以上			男女とも50kg以上

※65歳から69歳までの方は、60～64歳までに献血の経験がある方に限られます。



献血できる場所はここ！



栃木県赤十字血液センターやうつのみや大通り献血ルームでの献血については、電話又はwebによる事前予約をおすすめしています。ラブラッド会員の方はぜひwebからのご予約をお願いします。

栃木県赤十字血液センター

場 所 宇都宮市今宮4-6-33
TEL 028-659-0111 予約専用TEL 0120-940-382
受付日※ 毎日(年末年始の特定日を除く)
受付時間 成分献血 9:00～11:00 13:00～15:30
400ml・200ml献血 9:00～12:00 13:00～16:30



うつのみや大通り献血ルーム

場 所 明治安田生命ビル1階
TEL 028-632-1131 予約専用TEL 0120-305-095
受付日※ 每日(年末年始の特定日を除く)
受付時間 成分献血 9:30～11:30 13:30～16:00
400ml・200ml献血 9:30～12:30 13:30～17:00



※年末年始については、おいでいただく前にお問い合わせください。



県内各地に、献血バスもお伺いしています。

実施予定は、栃木県赤十字血液センターホームページへ！

栃木県 献血 検索 <https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/tochigi>

